

令和2年度 市民活動スキルアップ講座

市民協働基礎講座 ～SDGsから考える市民協働～ 実施報告書

令和3年2月10日
菊川市市民協働センター

I. 趣旨と目的

行政や市民活動団体が抱える課題の解決や、協働事業の推進に必要なスキル・ポイント等を学ぶため、SDGsをテーマに市民協働基礎講座を開催する。SDGsが定める解決すべき課題は身近に存在し、どれも社会に複雑に入り組んだ困難な課題ばかりで、市民、企業、行政等、さまざまな主体による協働の取り組みが欠かせない。今回の講座は、SDGsの基礎知識や、SDGsの視点で地域の「持続可能性」や「活性化」を目指す事例等から、今後の取り組みのヒントを探ることを目的とする。

II. 実施概要

開催日時	令和3年1月26日（火）13:30～15:00
会場	菊川市役所庁舎東館プラザきくる3階 E301、302 会議室
対象	協働推進庁内ワーキンググループ委員及び参加を希望する職員、行政との協働事業に取り組んでいる市内の市民活動団体等
受講者数	23名
主催	菊川市地域支援課市民協働係、菊川市市民協働センター

III. 講師紹介

しずおかSDGsネットワーク 代表 木下 聡 氏（きのした さとし）

1982年仙台市生まれ。大学卒業後、大手書店の営業職として5年間勤務したのち、退職して青年海外協力隊に参加し、環境教育の隊員として2年間活動。帰国後、AAR Japan 難民を助ける会に入職。東日本大震災の復興支援、ミャンマーの国内避難民、障がい者支援事業などの担当と並行しファンドレイジングボランティア「FUNVO」を担当。2018年7月に退職して主夫兼フリーランスファンドレイザーに転身。最初の活動として静

岡チャプターの設立を呼びかけ、2019年発足し代表に就任。

IV. 講座内容

- 1) SDGsの重要ポイント①
 - ・SDGsとは
 - ・経済、社会、環境の調和
 - ・統合性（17の目標はそれぞれ密接に関係している）
 - ✓5つのP（People、Planet、Prosperity、Peace、Partnership）
 - ✓SDGs ウェディングケーキ

- 2) 持続可能な開発のための2030アジェンダ
 - ・2030アジェンダの構成、概要
 - ・SDGs策定の経緯

- 3) SDGsの重要ポイント②
 - ・全世界の市民が参加
 - ・貧困
 - ✓世界から貧困をなくす（人権）
 - ✓「つづかない世界」を「つづく世界」に
 - ✓なぜ貧困なのか
 - ・MDGsの反省を活かす

- 4) 持続可能な開発とは
 - ・地域循環共生圏

[講座の風景]



V. 座談会

講座終了後、市民協働センターで講師の木下氏を囲み、座談会を開催した。座談会にはSDGsの活用に関心を寄せる団体などから計6名が参加した。木下氏からはSDGsに関するより詳しい説明があり、参加者たちからは「どう自分たちの活動につなげていけばよいか」「木下さんはどのように進められたのか」など様々な質問が寄せられた。

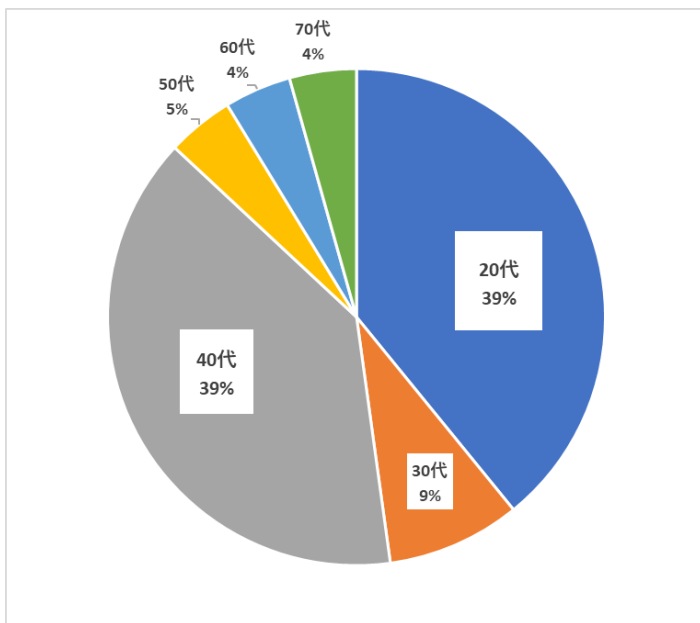


木下氏からは最後に「菊川市は草の根活動が多く、市民協働の土台がしっかりしている。SDGsに取り組み始めれば、ローカル指標も設定できるだろう。(自分が活動している静岡市を)ぜひ追い抜いてもらいたい」とのエールが送られました。

VI. 参加者アンケート結果

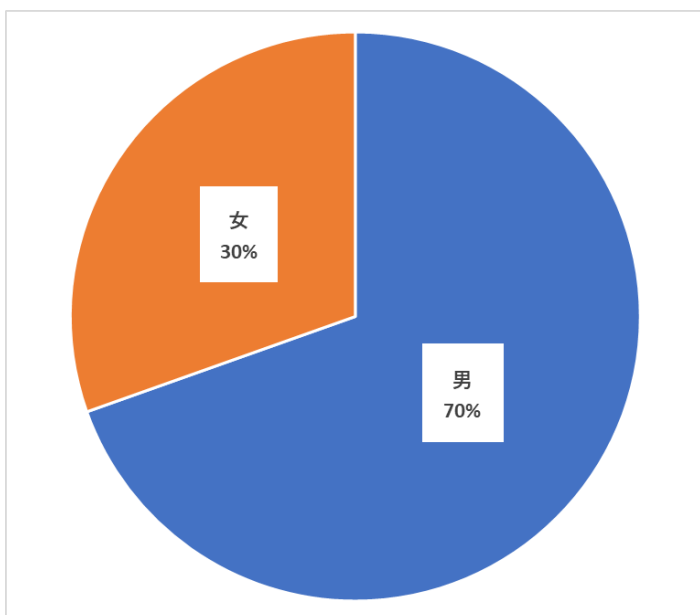
※回答者数 23 名（回答率 100.0%）

1) 年代



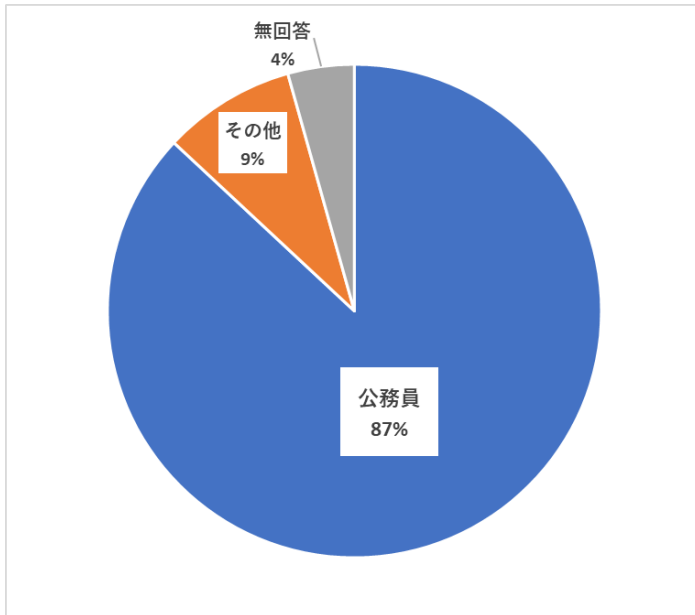
No.	年代	人数
1	20代	9
2	30代	2
3	40代	9
4	50代	1
5	60代	1
6	70代	1
	合計	23

2) 性別



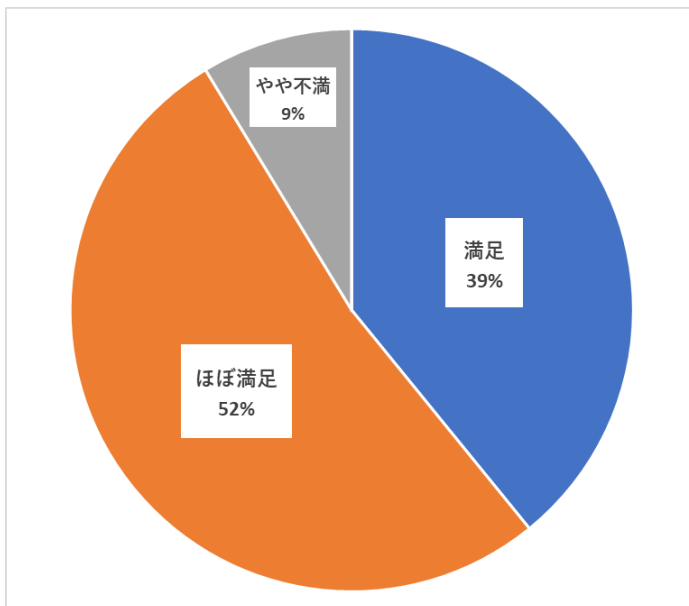
No.	性別	人数
1	男	16
2	女	7
	合計	23

3) ご職業



No.	ご職業	人数
1	公務員	20
2	その他	2
3	無回答	1
	合計	23

4) 本日の講座の感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	満足	9
2	ほぼ満足	12
3	やや不満	2
4	不満	0
	合計	23

● 「満足」と回答した理由。

- ・ 2030 アジェンダについての説明が聞けたり、事例が聞けたりしたため。
- ・ SDGs 策定の成り立ち、精神を知ることができ、自分が考えていたものと違うという気づき

きがあった。新たな発見（強み同士が集まればよいわけではない）もあった。

- ・ 単語レベルでの知識しかなかった SDGs について基礎的なことを知ることができてよかった。
- ・ 学校の授業みたいで新鮮だった（懐かしい）。SDGs を誰かに説明できるほど理解していないと思っていたので、成り立ちを知ることができて理解が深まった。
- ・ SDGs の構造について説明がとても分かりやすかった。
- ・ SDGs の 17 の目標について内容がわかった。
- ・ 基礎講座としてすごくわかりやすかった。
- ・ わかりやすい解説ありがとうございました。

● 「ほぼ満足」と回答した理由

- ・ SDGs の基礎が、ワークシートと SDGs ウェディングケーキでよりわかりやすかった。
- ・ ワークや映像でわかりやすく説明してもらえた。
- ・ 事例を知ることができたので、SDGs について理解が進んだように思う。
- ・ ざっくりとしか理解していなかった SDGs について理解することができた。
- ・ 聞いたことだけある単語のアウトラインがわかった。
- ・ SDGs が少しだけわかった気がする。
- ・ 時間に対して内容が多いように感じた。
- ・ もう少し SDGs について勉強しようと思った。

● 「やや不満」と回答した理由

- ・ 当市において予算書の資料まで掲載させることに對し、その必要性があまり感じ取れなかった。内容については理解した。
- ・ 今回オンラインで受講したが、講師の声が聞きづらい（山崎さんの声はよく聞こえていたのでマイクの位置がおかしい？）、講師が画面上から消える、ホワイトボードを使っていたが画面からは見えない、動画を視聴したが声がほぼ聞こえない等、オンライン環境での受講には向かない研修だった。（講師もオンラインを意識していなかったと思われるので、会場で受講したかった）
内容については今後事業を進めるうえで必要な内容だったので満足。

5) 本日の講座を受けて、特に印象に残ったこと、今後に活かせるようなことがあれば教えてください。

- ・ 17 の目標がアジェンダの一部で、さらに細かく決められていることがわかった。
- ・ 1 つの目標を解決したら他もということもあり、おもしろいと思った。
- ・ 17 の目標はそれぞれ独立したものだと思っていたが、それぞれの目標は関連していて、1 つの事業でも色々な側面から評価をするという話が印象的だった。

- ・SDGsは、それぞれに関わりあっているということが印象的だった。
- ・分野ごとに見るのではなく、全体像を見ることが大事。
- ・関連性によっては目標が複数になる。
- ・関連性をイメージしながら進める。
- ・最も遅れているところに第一に手を伸ばす。
- ・最も遅れているところから第一に手を伸ばす。
- ・169のターゲットを読めば、業務との絡め方がよりわかりそうな気がする。
- ・169のターゲットと230の指標。
- ・アジェンダや前文に注目したことがなかったので、今回の講座で本当の理解に近づけたと思う。
- ・協働（パートナーシップ）により大きな課題も解決できる可能性がある。⇒業務においても活用したい。
- ・強みだけを持ち寄るSDGsでは協働が生まれにくいという言葉が特に印象に残った。
- ・得意分野（強み）だけでなく、苦手な分野を知らせることも大事。⇒相手が見つかる。
- ・SDGsの考え方は大切だと思うが、実現性という点で疑問がある。根本的にはグローバルイズムの行き過ぎによる格差の構造を考えないと。
- ・前文の話（5つのP）と地域循環共生圏、パートナーシップ。
- ・貧困対策。
- ・協働とは関係ないが、今後の事業目標を立てる上でSDGsを考えるきっかけになった。
- ・今後の共創事業等に活かしていきたい。
- ・SDGsについて正しい理解ができたと思う。ぜひ課内で共有していきたい。
- ・庁内への周知に活かしていきたい。

6) その他、講師へのメッセージ、聞いてみたいことなどがありましたらご記入ください。

- ・静岡のローカル指標について機会があれば知りたい。
- ・SDGsの知識が深まりました。ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

7) 今後の講座で取り上げてほしいテーマがあればご記入ください。

- ・ターゲットについて詳しく知りたい。

以上